

平成22年三条市議会第6回定例会請願文書表

受理番号	第 10 号	受理年月日	平成22年12月13日
件名	米価の大暴落に歯止めをかけるための請願		
紹介議員	久住久俊君 高坂登志郎君 野崎正志君 杉井 旬君 横山一雄君 武藤元美君		
請 願 文			
<p>【請 願 理 由】</p> <p>農林水産省は、米戸別所得補償モデル事業によって米の需給は均衡し、米価は安定するとしてきましたが、相対価格は下落を続け、22年産の9月の相対価格は前年を14%、2,000円も下落する事態に至っています。</p> <p>各地のJAが示した概算金は1万円程度、中には7,000円台という驚くべき水準で、農家に衝撃を与えています。今農村では、農家が余りにも安い米価に失望し、無策で冷淡な政府の姿勢に憤りを募らせています。こうした事態を生み出した最大の原因は、戸別所得補償を口実に価格対策は取らないと公言してきた政府の姿勢にあることは明らかです。</p> <p>この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続いている中で、生産者の努力は限界を超えており、かつて経験したことのない米価の下落が日本農業の大黒柱である稲作存続の土台を破壊し、それはまた国民への主食の安定供給を困難にし、政府が進める米戸別所得補償モデル事業さえも台無しにするものと考えます。</p> <p>私たちは、米の需給を引き締めて価格を安定、回復させるためには、政府が年産にかかわらず過剰米を40万トン程度、緊急に買い入れることが最も効果的であると考えます。</p> <p>以上の趣旨から、次の事項について意見書を関係機関に提出して下さるよう請願いたします。</p> <p>【請 願 事 項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年産にかかわらず40万トン程度の買い入れを緊急に行うこと。 2 米価の下落対策を直ちに講ずること。 			

付託委員会

経済建設常任委員会